

< 馬の改良増殖、保護利用増進及び馬事知識の普及事業（公益目的事業） >

第1 一般会計予算事業

1. 登録事業

登録事業は、公益社団法人日本馬事協会登録規程、同事務細則及び個体識別証明実施要領に基づき、北海道において輓系馬、乗系馬及び小格馬、岩手県において輓系馬及び乗系馬、青森、島根、熊本、宮崎の各県において輓系馬、その他の地域において乗系馬を主体に、血統登録、繁殖登録及び個体識別証明（以下「登録等」という。）を行った。

(1) 登録事務の推進

登録等の適正かつ円滑な実施を図るため、当協会の本部及び北海道事務所に技術者及び事務員を配置するとともに関係団体等の協力を得て登録等を行った。

ア 登録審査委員の委嘱

登録審査委員は、人事異動等必要に応じ、当協会役職員、学識経験者、関係団体の役職員のうちから適任者（10名）を新たに任命又は委嘱した（令和5年3月末現在67名）。

イ 登録実務者研究会等の開催

登録審査委員の技術向上等を図るため、4月26日に登録審査委員を対象として登録実務者研究会（参加者19名）を、4月27日に登録審査補助員を対象として登録審査講習会（参加者7名）を独立行政法人家畜改良センター十勝牧場（以下「十勝牧場」という。）で開催した。

(2) 登録等の審査

登録等の申込みのあった馬について、関係書類及び実馬を審査して登録等を行った。また、登録審査において疑義等があった馬に対し、毛色の遺伝子検査（10頭）及びDNA型検査（重種雄馬31頭、親子判別51頭）を実施した。

登録等の実施状況

（単位：頭）

区分	輓系馬	乗系馬	小格馬	在来馬	計
血統登録	1,090	223	157	125	1,595
繁殖登録	279	56	39	33	407
個体識別	-	38	45	-	83
計	1,369	317	241	158	2,085

(3) 登録証明書等の交付

血統登録証明書、繁殖登録証明書及び個体識別証明書を交付するとともに、登録情報を登録名簿に登載した。

(4) 登録事務の整備

電算機を利用して登録情報等の集積・管理・提供を行い、関係団体に提供するとともに、登録情報を「馬関連団体情報システム」により当協会ホームページで開示した。

(5) 登録業務の普及啓発

登録申請等の簡便化や各種馬事知識の普及啓発を図るため、登録関係及び馬事関係の情報を逐次更新し、当協会ホームページで発信した。

2. 乗用馬等の生産育成振興事業

(1) 乗用馬の生産育成促進指導

ア 乗用馬生産育成技術検討会の開催等

北海道地区及び岩手県地区の乗用馬生産農家の組織強化と乗用馬生産基盤を強化するため、乗用馬生産育成技術検討会を以下のとおり開催した。

- ・北海道地区 ホクレン釧路地区家畜市場（9月27日）
- ・岩手県地区 一般社団法人遠野市畜産振興公社（10月25日）

また、乗用馬生産地で開催される乗用馬市場の開催に際し、当協会職員を派遣して上場馬の調教等に協力するとともに、せり名簿等の作成に対して、その経費を助成した。

イ 乗用馬補充対策（協会所有馬）

(ア) 内国産乗用馬の資質向上を図るため、乗用馬市場において乗用雌馬1頭を購入し、乗用馬生産地に種雌馬として貸付けた。

品 種	馬 名 (馬 齢)	貸 付 先
日本スポーツホース種	ロックンサクラ (1歳)	根釧乗用馬生産育成振興会

注：馬齢は購買時

(イ) 内国産乗用馬の資質向上を図るため、購買員2名（当協会及び十勝牧場の職員）を派遣し、ドイツで乗用雌馬2頭を購入し、乗用馬生産地に種雌馬として貸付けた。

品 種	馬 名 (馬 齢)	貸 付 先
ホルスタイン種	ロッテKL (4歳)	遠野市畜産振興公社
オルデンプルグ種	ビッグスター (7歳)	

注：馬齢は購買時

(ウ) 日本中央競馬会から乗用雌馬1頭及び乗用雄馬1頭の寄贈を受けて、乗用馬生産地に種雌馬及び種雄馬として貸付け又は配置した。

品 種	馬 名 (馬 齢)	貸付先又は配置先
KWPN種	ジェディーオン (11歳)	根釧乗用馬生産育成振興会
	ディ・ルカ (7歳)	遠野市畜産振興公社

注：馬齢は寄贈時

ウ 乗用馬の登録

乗用馬の改良に資するため、申し込みのあった乗用馬について、関係書類及び実馬の審査を実施し、登録等を行った。

(2) 日本在来馬の保存活用推進

ア 保存活用推進会議の開催

日本在来馬の保存活用に係る各馬種団体の保存活動及び利活用等について意見交換し、諸課題の検討及び今後の日本在来馬保存の在り方について広く議論を行うため、各馬種保存会及び関連団体などを参集して連絡会議（全国会議）を11月7日～8日に宮崎県串間市で開催した。

イ 日本在来馬の保存登録

日本在来馬の保存のため、北海道和種（血統登録：118頭、繁殖登録：30頭）、木曾馬（血統登録：3頭、繁殖登録：1頭）、野間馬（繁殖登録：2頭）、対州馬（血統登録：4頭）の登録を行った。

3. 重種馬等の生産振興対策事業

(1) 重種馬の整備

重種馬の資質向上と増産を図るため、優良な種雄馬及び種雌馬を購入・借受け、重種馬の主要生産地へ配置・貸付けを行うとともに、凍結精液を製造して農業団体等に配付した。

ア 内国産種雄馬の配置（独立行政法人家畜改良センター所有馬）

十勝牧場で生産育成された種雄馬5頭（ペルシュロン種2頭、ブルトン種3頭）を借受け、重種馬生産地に配置した。

(単位：頭)

品 種	北海道	青 森	岩 手	島 根	熊 本	宮 崎	合 計
ペルシュロン種	1				1		2
ブルトン種	1			1		1	3
合 計	2			1	1	1	5

品 種	馬名 (馬齢)	配 置 先
ペルシュロン種	シヨウ ケイ 渉 計 (2歳)	釧路農業協同組合連合会
	カイ ニチ 借 日 (2歳)	熊本県畜産農業協同組合
ブルトン種	エイ リョウ 映 隆 (2歳)	ホクレン岩見沢支所
	エイ フ 映 芙 (2歳)	都城農業協同組合
	サイ キ 崔 祈 (2歳)	島根県農業協同組合隠岐どうぜん地区本部

注：馬齢は借受時

イ 内国産種雄馬の配置（協会所有馬）

(ア) ばんえい競馬で優秀な成績を残した競走馬の中から雄馬3頭を選定・購買し、北海道及び青森県の重種馬生産地に種雄馬として配置した。

品 種	馬 名 (馬 齡)	配 置 先
日本輓系種	アオノゴッド (6歳)	つがるにしきた農業協同組合
	サクラダイチ (9歳)	十勝農業協同組合連合会
	ココロノタカラ (8歳)	ホクレン北見支所

注：馬齢は購買時

(イ) 凍結精液の製造・配付用として雄馬1頭を選定・購買し、種雄馬として一般社団法人遠野市畜産振興公社に預託し、凍結精液を製造した。

品 種	馬 名 (馬 齡)	預 託 先
日本輓系種	バウンティハンター (10歳)	遠野市畜産振興公社

注：馬齢は購買時

ウ 輸入種雌馬の貸付 (協会所有馬)

購買員2名(日本馬事協会及び十勝牧場の職員)を派遣し、仏国で種雌馬4頭(ペルシュロン種2頭、ブルトン種2頭)を購入し、十勝牧場に貸付けた。

品 種	馬 名 (馬 齡)	貸 付 先
ペルシュロン種	ジャヴァ ドゥ サンボール (3歳)	独立行政法人 家畜改良センター 十勝牧場
	ジョリア (3歳)	
ブルトン種	ケルベルダ ペルトレーズ (2歳)	
	ケンブラオ アール コート (2歳)	

注：馬齢は購買時

エ 内国産種雌馬の貸付 (協会所有馬)

ばんえい競馬の競走馬の中から雌馬13頭を選定・購買し、北海道及び岩手県の重種馬生産地に種雌馬として貸付けた。

(単位：頭)

品 種	十 勝	釧 路	根 室	日 高	北 見	苫小牧	岩見沢	岩 手	合 計
日本輓系種	3	3	1	1	1	2	1	1	13

品 種	馬 名 (馬 齡)	貸 付 先
日本輓系種	フクハナ (5歳)	十勝農業協同組合連合会
	アアモンドカズミ (5歳)	
	マオノクイーン (7歳)	
	アアモンドヒロイン (5歳)	釧路農業協同組合連合会
	レッツゴーリータン (5歳)	
	メキメキ (4歳)	

日本輓系種	ヒカルファンタジー（5歳）	根室生産農業協同組合連合会
	サトニシキ（4歳）	日高生産農業協同組合連合会
	カネサヒロイン（7歳）	ホクレン北見支所
	ハナノウンカイヒメ（5歳）	ホクレン苫小牧支所
	シンエイアロー（5歳）	
	ハゴロモヴィーナス（4歳）	ホクレン岩見沢支所
	ゼンノチカラ（4歳）	盛岡畜産農業協同組合

注：馬齢は購買時

オ 凍結精液の配付等

（ア）凍結精液の配付

一般社団法人遠野市畜産振興公社に預託して製造・保管している日本輓系種（オーシャンスター）の凍結精液を農業団体等（6団体）に配付した。

地 区	配 付 先	配付本数
北海道	帯広市川西農業協同組合	100本
	浦幌町農業協同組合	100本
	浜中町農業協同組合	24本
	新篠津農業協同組合	12本
岩手県	一般社団法人岩手県馬事振興会	100本
熊本県	熊本県畜産農業協同組合	20本

（イ）輸入凍結精液の導入

重種馬の基幹的な品種であるペルシュロン種の改良増殖を推進するため、その原産国である仏国から凍結精液（400本）を2月に試験輸入し、十勝牧場に依頼して精液性状調査及び受胎試験を行った。

（2）重種馬の生産推進

ア 重種種雄馬の適正配置

（ア）種雄馬配置協議会の開催

独立行政法人家畜改良センターから借受けた種雄馬の適正配置を図るため、配置希望団体を参集して、7月14日に十勝牧場で種雄馬配置協議会を開催し、借受けた種雄馬（5頭）の配置先を決定した。

（イ）種雄馬及び種雌馬の管理指導

① 配置種雄馬及び貸付種雌馬を適正に管理するため、飼養管理場所に当協会又は事務委託先等の職員を派遣して、飼養管理状況の把握とともに管理指導を行った。

② 交配種雄馬の選定等の参考に資するため、協会所有、独立行政法人家畜改良センター所有及び民間所有の種雄馬（令和4年度の種畜検査合格馬）名簿を作成・印刷（600部）し、関係団体等に配付した。

③ 配置種雄馬（キンメダル：腸狭窄）及び貸付種雌馬（アサヒカツヒメ：子宮内膜症）の繁殖障害等に対し、高度医療提供機関（帯広畜産大学）への輸送費及び治療費を補助した。

イ 重種馬の生産振興

(ア) 重種馬の生産技術の指導

重種馬の飼養管理技術を向上させるため、飼養者を対象に技術指導及び飼養者講習会等を行った農業団体等（6団体）に指導奨励金を交付した。

地 区	交 付 先
北海道	十勝農業協同組合連合会
	釧路農業協同組合連合会
	根室生産農業協同組合連合会
	上川生産農業協同組合連合会
岩手県	一般社団法人岩手県馬事振興会
宮崎県	都城農業協同組合

(イ) 研修会等の開催

① 馬事技術者養成講習会

馬事技術者の養成を図るため、農協及び行政機関等の職員を対象として、5月24日～26日に地方競馬全国協会の地方競馬教養センターで馬事技術者養成講習会（参加者10名）を開催した。

② 馬事技術指導者研修会

馬事技術指導者の更なる技術の向上を図るため、農協等の職員を対象として、9月8日に十勝牧場で馬事技術指導者研修会（参加者11名）を開催した。

③ 馬診療技術研修会

生産現場における馬診療獣医師の技術向上を図り、重種馬の生産性向上に資するため、重種馬等の診療に携わる獣医師等を対象として、1月21日～2月5日に開催された全国公営競馬獣医師協会主催の獣医師生涯研修会に研修生（7名）を派遣した。

④ 生産技術研修会

北海道地区における重種馬生産技術の向上を図るため、重種馬生産者等を対象として、第1回を11月22日（参加者60名）に旭川市内で、第2回を2月20日（参加者30名）に函館市内で生産技術研修会を開催した。

⑤ 削蹄技術講習会

重種馬の護蹄管理を中心とした削蹄技術の向上を図るため、重種馬飼養者

等を対象として、2月20日に熊本県家畜市場で削蹄技術講習会(参加者45名)を開催した。

⑥ 馬の担い手養成研修会

重種馬生産の担い手を養成するため、重種馬生産者等を対象として、第1回を6月20日(参加者18名)に、第2回を10月17日(参加者8名)に十勝牧場で馬の担い手養成研修会を開催した。

⑦ 馬事普及セミナー

重種馬生産等の業界に携わる新たな担い手を確保するため、重種馬に興味を持っている一般市民等を対象として、11月3日に帯広市内で馬事普及セミナー「重種馬の魅力を考えるシンポジウム」(参加者23名)を開催した。

4. 馬事普及啓発推進事業

(1) 馬事普及特別対策事業

ア イベント活性化推進

畜産関係団体等(3団体)が開催するイベント等(昭和ばんえい競馬展等)に対し、その経費を補助した。

地区	交付先
北海道	釧路農業協同組合連合会
	釧路馬事振興連合会青年部会
	NPO 法人とかち馬文化を支える会

イ 生産技術研修

農協、農協連及び重種馬生産地域の生産集団等(6団体)が行う生産技術研修(重種馬集団繁殖検診研修等)に対し、その経費を補助した。

地区	交付先
北海道	十勝農業協同組合連合会
	釧路馬事振興連合会青年部会
	上川馬事振興会
島根県	島根県農業協同組合隠岐どうぜん地区本部
熊本県	熊本県畜産農業協同組合連合会
宮崎県	都城農業協同組合

ウ 調査研究

農協、農協連及び重種馬生産地域の生産集団等(1団体)が行う生産技術調査・研究(重種馬の輸血に関する調査研究)に対し、その経費を補助した。

地区	交付先
北海道	十勝農業協同組合連合会

エ 共進会等推進

農協、農協連及び重種馬生産地域の生産集団等（2団体）が行う共進会等に対して、その経費を補助した。

地 区	交 付 先
北海道	十勝馬事振興会
	釧路農業協同組合連合会

(2) 馬事思想普及教材配付事業

馬への関心や親しみを広く一般の人々に持ってもらうための普及啓発用教材（馬のいろいろパート5（馬と仕事））を作成するとともに、馬事思想の普及向上を図るため、申請のあった延べ30団体に対し、既に作成した普及啓発教材（馬のいろいろパート1～パート4）を含めて合計16,720部を配付した。

(3) 馬事関係資料の収集

馬の消化器官、栄養、飼料、飼養管理及びステージ別の栄養管理等を取りまとめたテキスト「馬の栄養及び飼養管理」（改訂版）を製本・印刷（300部）した。

(4) 優良重種馬学術調査事業

重種馬の生産技術の向上及び改良増殖推進に資するため、以下の大学と共同で学術調査を行った。

ア 運動能力力学に関する調査研究（山口大学との共同研究）

ばんえい競走馬の牽引能力に係る運動メカニズムの解明のための学術調査を実施した。

イ B L U P法による馬能力検定に関する調査（京都大学との共同研究）

ばんえい競走馬及び十勝牧場の重種馬の体型測尺値、線形審査データ、ばんえい競馬能力検査成績及び産肉成績をもとに、B L U P法アニマルモデルを用いた馬の能力検定に係る評価結果を検証するための学術調査を実施した。

ウ 呼吸器疾患に関する調査研究（帯広畜産大学との共同研究）

ばんえい競走馬等を対象とした呼吸器疾患に対する馬診療専用のビデオ内視鏡システムを用いた実態調査を実施した。

エ 受精卵移植技術に関する調査研究（帯広畜産大学との共同研究）

帯広畜産大学において研究ベースで行われている馬の受精卵移植技術を普及・定着するため、十勝牧場で繋養されている重種馬による受精卵移植を実施した。

(5) 優良重種馬生産者表彰事業

重種馬の生産意欲を喚起するため、重種馬生産の指標となっている、ばんえい競馬の2競走（黒ユリ賞（3歳牝馬限定：BG2）、イレネー記念（3歳限定：BG1））の出走馬の生産者（19名）を優良重種馬生産者として、また、農業団体等からの推薦を受け、長年にわたり産駒を生産（15産以上）した繁殖雌馬（2頭）を優良重種馬（多産馬部門）として表彰するとともに、3月20日に帯広市内で表彰式典を開催した。

(6) 重種馬生産地懇談会

重種馬生産者との意見交換及び現地調査を行い、重種馬生産の実態等を把握するため、重種馬生産地（5地区）で重種馬生産者・農業団体・関係機関による地域懇談会を開催した。

- ・十勝地区 帯広市（7月20日～21日）
- ・釧路地区 釧路市（7月4日～5日）
- ・根室地区 中標津町（7月6日～7日）
- ・道南地区 函館市（7月20日～21日）
- ・青森地区 七戸町（2月13日）

(7) 重種馬等生産振興推進会議

ア ブロック会議

地域の実態に即した重種馬の生産振興策を検討するため、重種馬等生産振興ブロック会議を以下のとおり開催した。

- ・北海道ブロック WEB 会議(3月10日)
- ・東北及び西日本ブロック WEB 会議(3月6日)

イ 重種馬生産振興に関する検討会

重種馬生産に関する将来展望（ビジョン）について検討を行うため、重種馬生産者・農業団体・関係機関による検討会を開催し、合計4回にわたる検討の結果、11月1日に「重種馬生産に関する将来展望」を取りまとめた。

5. 馬事振興に関する検討会の開催

過去に血統登録及び繁殖登録を行った宮古馬の親子関係が DNA 型検査等の内容と異なっていたことから、登録の更正について検討を行うため、2月3日に馬事畜産会館で馬事振興検討会（登録部会）を開催した。

6. 食肉処理施設調査事業

馬の処理実績がある国内食肉処理施設（12か所）に対し、馬の食肉利用の実態把握等の調査を行った。

7. 馬の輸入精液証明書発給等事業

公益社団法人日本馬事協会馬輸入精液証明書発給規程に基づき、仏国から輸入された馬凍結精液に対して、ストロー1本ごとに日本国内向け精液証明書（合計560通）を発給するとともに、これに関連する業務を行った。

8. 褒賞事業

重種馬等の生産振興を図るため、生産地で開催された馬の共進会等（7月20日：十勝総合畜産共進会、7月5日：釧路種馬共進会、9月8日：岩手県畜産共進会、9月25日：根釧乗用馬共進会、10月18日：全国装蹄競技大会、10月29日：熊本県共進会（ふ

れあい畜産まつり)、12月10日：都城種雄馬管理協議会子馬品評会)において後援を行うとともに、最高位受賞者に会長賞を授与した。

また、ばんえい競馬の重賞・特別競走〔青雲賞、ナナカマド賞 (BG3)、ばんえいオークス (BG1)、蛍の光賞〕の優勝馬の馬主に会長賞を授与した。

9. 広報事業 (法人管理事項を含む。)

乗用馬市場上場馬名簿等の馬事関連情報 (当協会の各種規程、事業の公募及び実施要領等を含む。) を当協会ホームページに掲載したほか、「馬事協会だより」を4月1日 (No. 16) 及び12月1日 (No. 17) に発行し、会員等に配付した。

第2 特別会計予算事業

1. 在来馬種保存事業

我が国における在来馬種保存のため、次の事業を行うとともに、各保存会に対して令和3年度在来馬種保存事業に係る監査を実施した。

(1) 在来馬種保存事業

各保存会に対し、在来馬種を保存・利活用するために必要な飼育管理費、保存活用研究費及び施設等整備費を助成した。

(2) 絶滅危惧種対策事業

絶滅が危惧される2馬種 (野間馬、対州馬) について、必要な施策 (放牧柵整備等) を行った。

2. 馬受精卵移植技術の実用化推進事業

我が国における乗用馬への受精卵移植技術の実用化を図るため、次の事業を行った。

(1) 事業推進委員会の開催

学識経験者等からなる事業推進委員会 (7月22日：WEB会議) を開催し、事業実施における課題及び実施方針並びに事業の達成目標等について検討を行った。

(2) 受精卵移植における体制の確立事業

受精卵移植及び採卵のために必要な器具機材を一般社団法人遠野市畜産振興公社に整備した。

< 法人管理事項 >

第1. 会議の開催等

当協会の事業運営について審議・協議するため、総会、理事会を開催した。

1 総会

第75回定時総会（6月13日：馬事畜産会館2階会議室）

議案第1号 令和3年度収支計算書（資金ベース）及び財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書並びに財産目録）の承認に関する件

議案第2号 公益社団法人日本馬事協定会款第7条の経費の負担に関する件

議案第3号 理事及び監事の報酬等の総額に関する件

議案第4号 任期満了に伴う役員（理事及び監事）の選任に関する件

報告第1号 令和3年度事業報告書について

報告第2号 令和3年度監査報告について

報告第3号 令和4年度事業計画書、収支予算書（資金ベース及び正味財産増減予算書）並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について

報告第4号 新たな会員の入会について

2 理事会

(1) 第1回理事会（5月24日：馬事畜産会館2階会議室）

第1号議案 令和3年度事業報告書の承認に関する件

第2号議案 令和3年度収支計算書（資金ベース）及び財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書並びに財産目録）の承認に関する件

第3号議案 任期満了に伴う役員候補者の選任に関する件

第4号議案 新たな入会希望者（個人会員）の入会に関する件

第5号議案 総会に附議すべき事項の決定に関する件

報告第1号 令和3年度監査報告について

報告第2号 会長及び専務理事の職務の執行状況の報告について

(2) 第2回理事会（6月13日：馬事畜産会館2階会議室）

第1号議案 会長、副会長及び専務理事の選定に関する件

第2号議案 公益社団法人日本馬事協定会款第7条の経費の負担（団体会員の会費）に関する件

(3) 第3回理事会 (3月7日：馬事畜産会館2階会議室)

第1号議案 令和5年度事業計画書、収支予算書(資金ベース及び正味財産増減予算書)並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について

第2号議案 総会の招集及び総会に附議すべき事項の決定について

第3号議案 総会に附議すべき事項の内容の承認について

議案第1号 公益社団法人日本馬事協会定款第7条の経費の負担(会費)について

議案第2号 理事及び監事の報酬等の総額について

第4号議案 常勤役員の本俸について

第5号議案 公益社団法人日本馬事協会就業規則の一部改正について

第6号議案 公益社団法人日本馬事協会職員給与規程の一部改正について

第7号議案 公益社団法人日本馬事協会旅費規程の一部改正について

第8号議案 新たな入会希望者(個人賛助会員)の入会について

報告第1号 会長及び専務理事の職務の執行状況の報告について

3 監事監査

監事監査 (5月18日：日本馬事協会会議室)

4 監査の受検

(1) 地方競馬全国協会

令和3年度畜産振興補助事業等に係る監査 (9月13日～14日：日本馬事協会会議室)

(2) 内閣府

法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査 (1月30日：日本馬事協会会議室)

第2. その他

1 会員の状況 (令和5年3月末現在)

団体会員 69団体 (退会1団体)

個人会員 25名 (退会4名、入会1名)

賛助会員 4団体及び5名 (入会1名)

2 役職員の異動

(1) 役員

ア 4月1日

選任理事 吉田享史

イ 6月13日

選任理事 野村宏、山内正孝、若園則明

退任理事 高橋勝義、千葉伝

選任監事 杉村正司

(2) 職員等

ア 10月31日

総務部長を解く 御代田美一（地方競馬全国協会から派遣解除）

イ 11月1日

総務部長 金内一弘（地方競馬全国協会から派遣）

ウ 3月31日

定年退職 村山好子（常勤嘱託）

※ 令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。